

母の年齢階級別出生率の年次推移(昭和35年～令和2年)

		総数	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	不祥	合計特殊出生率 (15歳から49歳の 年齢別出生率の合)
1960年 (昭和35年)	出生数	51,632	1	696	15,238	24,676	8,807	1,904	291	18	1	0	1.80
	出生率			0.02225	0.48045	0.82400	0.35755	0.09315	0.01730	0.00115			
1965年 (昭和40年)	出生数	62,003	1	747	17,885	28,737	11,747	2,558	316	12	0	0	2.04
	出生率			0.02180	0.49380	0.96900	0.43020	0.11230	0.01640	0.00075			
1970年 (昭和45年)	出生数	53,165	1	656	13,554	25,599	10,343	2,655	337	9	1	10	1.91
	出生率			0.02720	0.37800	0.94245	0.42920	0.11485	0.01685	0.00056			
1975年 (昭和50年)	出生数	39,197	0	431	9,263	20,378	7,221	1,640	259	5	0	0	1.62
	出生率			0.02370	0.39055	0.78725	0.32325	0.07795	0.01250	0.00250			
1980年 (昭和55年)	出生数	28,919	2	392	5,163	13,839	7,792	1,524	199	8	0	0	1.48
	出生率			0.02080	0.27315	0.75325	0.34810	0.07445	0.01010	0.00400			
1985年 (昭和60年)	出生数	28,369	0	591	5,549	12,673	7,132	2,150	262	6	0	0	1.59
	出生率			0.03135	0.26535	0.76225	0.41905	0.10030	0.01315	0.00030			
1990年 (平成2年)	出生数	25,065	0	552	4,768	11,075	6,466	1,843	355	6	0	0	1.40
	出生率			0.02985	0.21920	0.58150	0.43185	0.11605	0.01720	0.00030			
1995年 (平成7年)	出生数	24,467	4	428	4,514	10,419	7,035	1,783	271	12	0	1	1.29
	出生率			0.02970	0.20110	0.49875	0.41070	0.12935	0.01760	0.00060			
2000年 (平成12年)	出生数	24,136	0	487	3,319	9,751	7,810	2,439	313	16	0	1	1.23
	出生率			0.03820	0.17920	0.43360	0.40515	0.15115	0.02335	0.00105			
2005年 (平成17年)	出生数	21,913	0	401	2,721	6,963	8,193	3,188	427	18	1	1	1.15
	出生率			0.03500	0.17045	0.36825	0.38063	0.17190	0.02676	0.00014			
2010年 (平成22年)	出生数	23,061	1	385	2,603	6,586	8,064	4,611	790	20	0	1	1.26
	出生率			0.03600	0.17650	0.36100	0.42300	0.21700	0.04200	0.00130			
2015年 (平成27年)	出生数	22,351	1	325	1,901	5,693	8,046	5,106	1,243	33	3	0	1.26
	出生率			0.02975	0.13499	0.32864	0.44145	0.27154	0.05814	0.00174			
2020年 (令和2年)	出生数	20,152	0	159	1,710	5,145	7,085	4,756	1,242	54	1	0	1.17
	出生率			0.01572	0.11306	0.28490	0.41086	0.27743	0.06834	0.00255			

合計特殊出生率は、15歳から49歳までの女性の出生率(「母の年齢別出生数」÷「年齢別女子人口」)を合計したもので、女子が一生涯の間に産む子供の数として用いられる。

大阪市の合計特殊出生率は大阪市保健所で算出。

国勢調査年の算出に用いた人口は、総務省統計局「国勢調査」の女子人口(日本人)で、昭和40年以外は第1次基本集計結果報告、昭和40年は20%抽出結果による。

平成12年・平成17年は、「不祥人口(日本人)」を按分した人口を用いている。

14歳以下の出生率は15歳～19歳で出生したものとして算出し、50歳以上の出生率は45～49歳で出生したものとして算出した(厚生労働省の計算手法を参考)。

平成22年は厚生労働省の公表値1.26としている。

平成27年度については「平成27年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口(参考表)」を分母に用い、率については厚生労働省の公表している値を採用している。

令和2年度については「令和2年国勢調査の日本人人口(不詳補完結果)」を分母に用い、率については厚生労働省の公表している値を採用している。

出生数は厚生労働省「人口動態統計」による。

母の年齢階級別出生率の年次推移(昭和35年～令和2年)

